

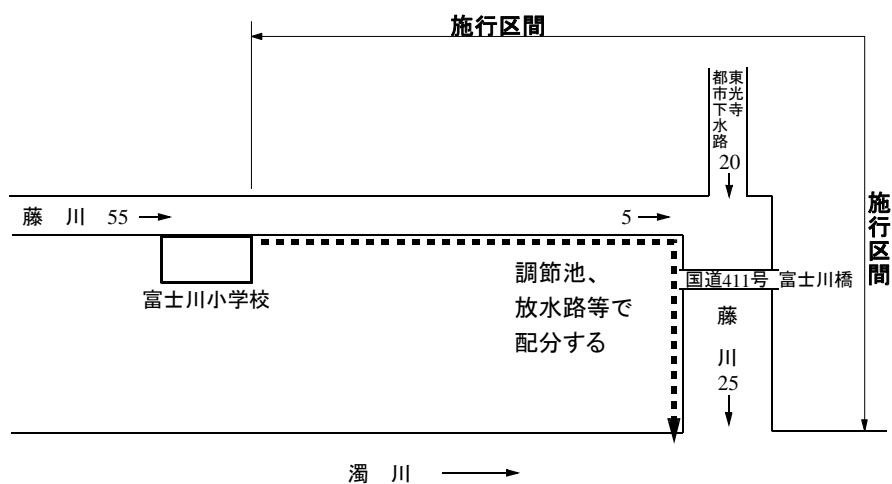
#### (4) 藤川

藤川は甲府市を流下する濁川に流入する河川であり、流域は都市化が著しいものの、大部分が掘込み河道で破堤の危険がないことから、本川濁川の治水安全度とのバランスにも配慮し、年超過確率1/30年規模の洪水を考慮して、濁川合流点における75m<sup>3</sup>/sを、河道と放水路等により、安全に流下させるものとします。

なお、早期に治水効果を発現するため、東光寺都市下水路合流点から下流部については、近年最大規模の災害発生を防止することを目標に、25m<sup>3</sup>/sの河道改修を進めます。

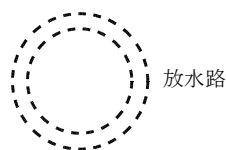
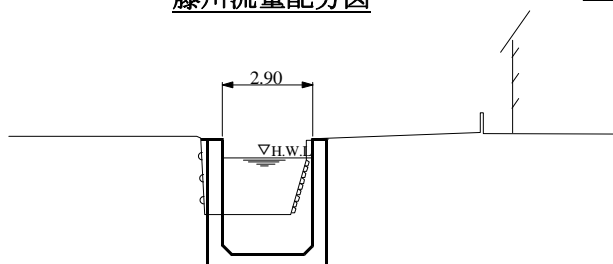
河川工事の実施にあたっては、川沿いに人家が近接するため、極力周辺施設への騒音・振動等の影響を少なくする工夫を図ります。

河川工事の施行の場所	河川工事の内容
濁川合流点～富士川小学校 L=約1,350m	掘削、護岸工、橋梁、洪水調節施設等



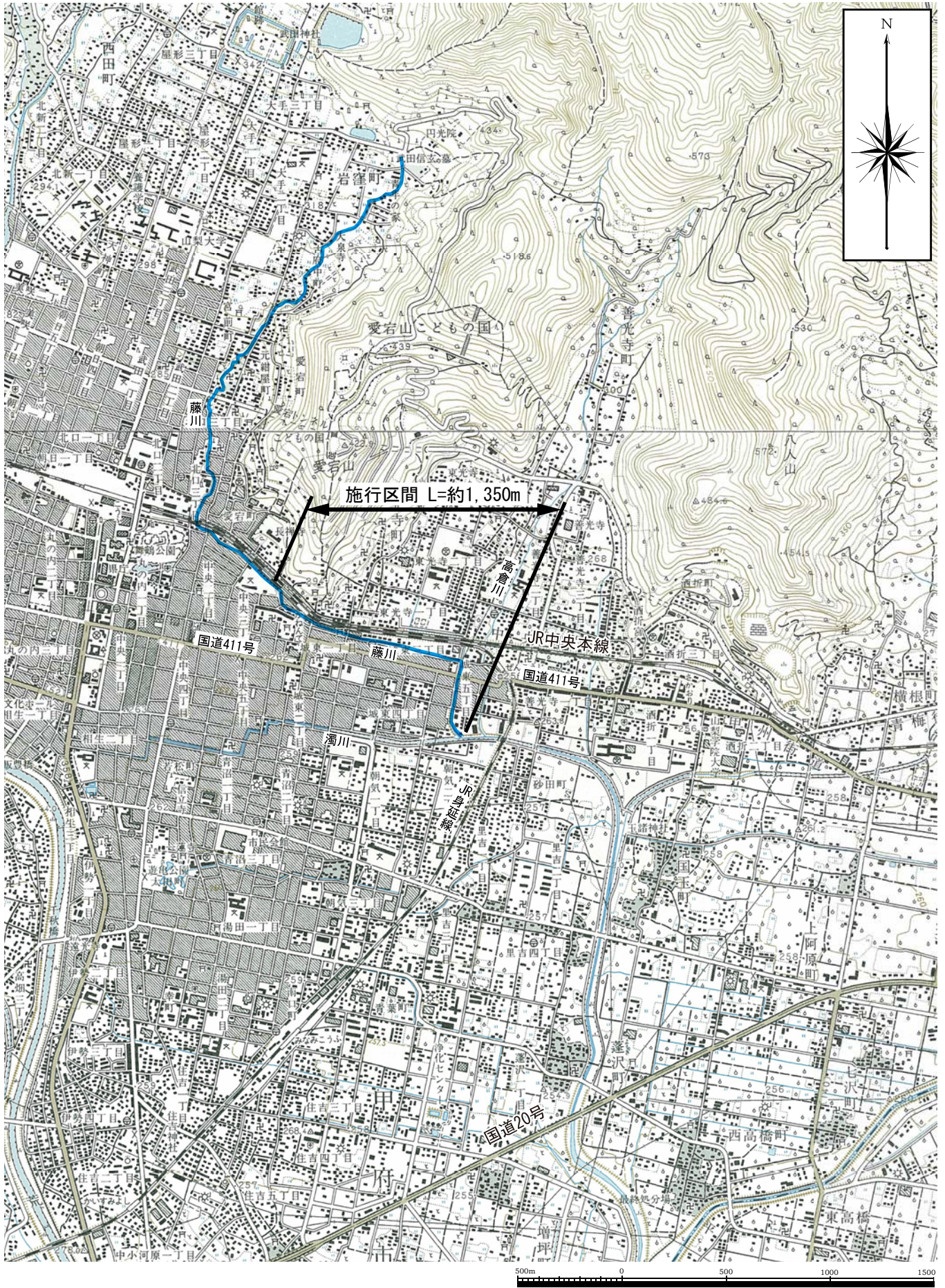
藤川流量配分図

単位：m<sup>3</sup>/s



「富士川橋」付近





河川工事の施行位置図（藤川）

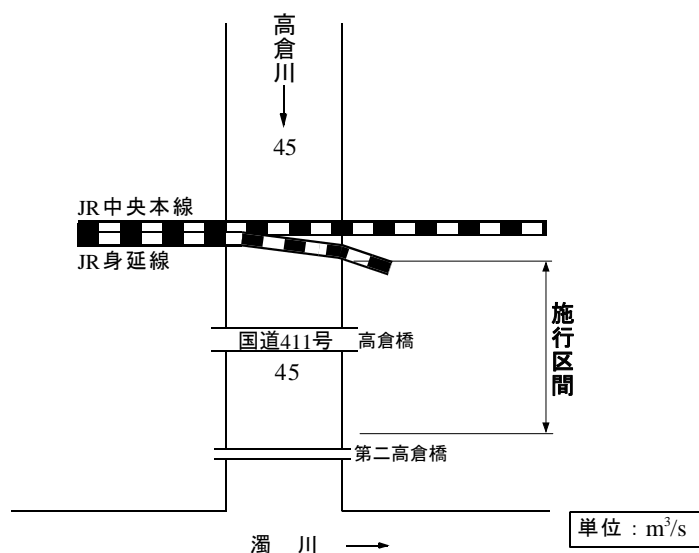


## (5) 高倉川

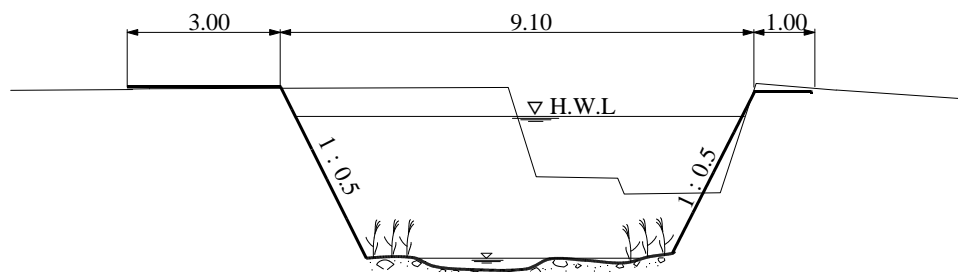
高倉川は甲府市を流下する濁川に流入する河川であり、流域は都市化が著しいものの、大部分が掘込み河道で破堤の危険がないことから、計画流量は本川濁川の治水安全度とのバランスにも配慮し、年超過確率1/30年規模の洪水を考慮して、濁川合流点において $45\text{m}^3/\text{s}$ とし、河道で $45\text{m}^3/\text{s}$ を計画高水位以下の水位で安全に流下させるものとします。

河川工事の実施にあたっては、川沿いに人家が近接するため、極力周辺施設への騒音・振動等の影響を少なくする工夫を図るとともに、河床に起伏をつけた変化に富む水際を創出し、市街地の景観にも配慮した河川整備を図ります。

河川工事の施行の場所	河川工事の内容
第二高倉橋上流～JR身延線下流 L = 約 280m	掘削、護岸工、橋梁等

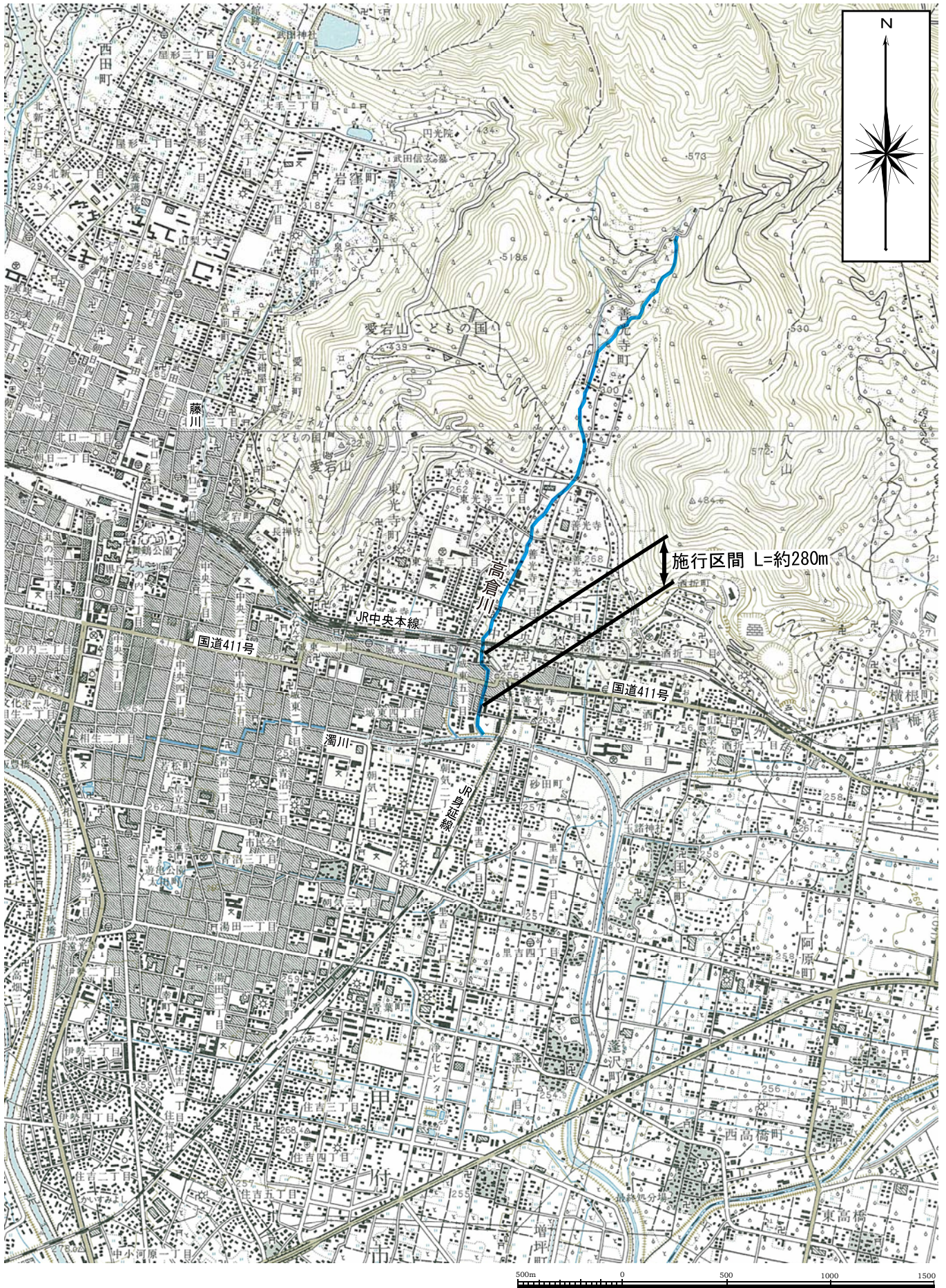


高倉川計画流量配分図



「高倉橋」付近





河川工事の施行位置図（高倉川）